

道産
レガシーを活かす

沼田城再現アプリ

好評配信中



NHK大河ドラマ「真田丸」の舞台のひとつである沼田城を再現させるスマホ専用無料アプリ「真田のやぼう 3D沼田城」が先月5日から配信、地元を中心に好評を得ている。

日本の各都道府県を制圧して群馬県にしていくアプリ「ぐんまのやぼう」とコラボ。ゲームとクイズでポイントを貯め、木材などの材料を集めて城を再現。その様子を3D表示で楽しめる沼田市初のご当地アプリだ。オリジナルで作る城下町には地元企業や商店街も登場するという。

システム開発会社・クライム(高崎)の金井修社長(55)とソフトウェア会社・ろけつと開発(前橋)の宇田川利明社長(44)が開発。クイズ「沼田城検定」は同市教委が監修した。金井さんと宇田川さんともに沼田高OB。地域活性につなげるねらいで制作した。宇田川さんは「関東有数の5層の天守閣で知られながら、現在は存在しない沼田城をアプリで再現することで、観光資源として活かしていければ」と話す。クライム(03・3517・1617)。



沼田公園に残る石垣